

ストップ！
「医療崩壊」

地域医療の充実を

国立病院の機能強化を求める 国会請願署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

請願趣旨

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の感染拡大は国民の生命と生活に深刻な影響をもたらしました。

医療現場では患者を受け入れた病院の多くが、その他の疾病の患者の受け入れや治療ができず、病院本来の診療機能を果たせない状況となりました。受診や入院が激減することで、経営も圧迫され、民間病院では「これ以上コロナ患者の受け入れは困難」との声も上がっています。まさに国民のいのちを脅かす「医療崩壊」が叫ばれる状態に陥りました。今こそ国立病院と国立高度専門医療研究センター（以下、国立病院）の機能を強化させ、患者・国民のいのちを守るときです。

現在、国立病院は、がん・救急医療等の地域医療、筋ジストロフィー・重症心身障害等の政策医療などとあわせて、新興感染症や大規模災害等国の危機管理に際して求められる医療などを提供し、地域医療を守る役割を担っています。

ところが、国立病院の診療事業に対する国からの補助金（運営費交付金）は年々減らされ、現在はまったく支出されていません。そのため、採算のとれない結核病床等は大きく削減され、医師、看護師などの医療スタッフも、ギリギリの人数しか配置されていません。その上、人工呼吸器やECMO（人工心肺装置）等の備えも十分ではなく、これでは国民の期待に応えることはできません。

「医療崩壊」を防ぎ、国民のいのちを守るための危機管理は国の重要な責務です。新興・再興感染症の拡大、大規模災害等の緊急事態から国民と地域医療を守る万全の体制をとるために、下記の事項を要請します。

請願項目

① コロナ等の感染症や大規模災害から国民のいのちを守るため、国立病院を機能強化すること。

- ① 国の責任において、国立病院に「新興・再興感染症対策」に十分に対応できる専門病床を設置し、人工呼吸器やECMO（人工心肺装置）等の医療機器の整備をすすめること。
- ② 「大規模災害」等の発生時においても、患者・国民に万全な医療が提供できるよう国立病院の機能強化を図ること。

② 国立病院の機能強化を図るために、医師、看護師をはじめ、全ての職員を増員すること。

③ 国立病院の機能強化に必要な財源は、国の責任で確保すること。

氏 名	住 所
	（住所は都道府県から所番地まで省略せず、正確に記入をお願いします。「/」「同上」などは使用不可となります）
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

※署名用紙に記入された氏名・住所は、請願として国会に提出する目的以外に使用することはありません。

ストップ!「医療崩壊」地域医療の充実を
国立病院の機能強化を求める
国会請願署名



「医療崩壊」を防ぎ国民のいのちを守ることは国の責任です。新興・再興感染症の拡大、大規模災害の緊急事態から国民と地域医療を守る万全の対策をとるために、国が責任をもって国立病院の機能強化を図るよう求めます。

国立病院の機能強化が
地域医療の充実につながります

国立病院は、すべての都道府県にあり全国140の病院と国立高度専門医療研究センター(6センター8病院)の病院ネットワークを活用し高度医療とともに重症心身障害、筋ジストロフィー、神経難病、結核、精神、へき地医療など民間では困難なセーフティネット分野の医療や、災害等の国の危機管理に際して求められる医療などを提供し地域医療を守る役割をもっています。

PCR検査が
受けられない

入院できない
通院できない

感染者が多いから
病院に行かない

感染症ベッドが
空いていない

人工呼吸器
マスク
消毒液が
足りない

看護師さんが
少ない



全日本国立医療労働組合(全医労)